

標 題 : An observational study of sequential protein-sparing, very low-calorie ketogenic diet (Oleoproteic diet) and hypocaloric Mediterranean-like diet for the treatment of obesity.

タンパク質節約、超低カロリー、ケトン誘発食(Oleoproteic diet)および低カロリー地中海類似食事を肥満の治療のために連続した観察研究

---

著 者 : G. Castaldo, et al. (イタリア A.O.R.N. "San Giuseppe Moscati" 臨床栄養部)

---

掲 載 誌 : Int. J. Food Sci. Nutr. 2016 Sep; 67(6): 696-706

---

要 旨 :

異なる食事から構成されるリハビリ用の多段階食事計画の影響はほとんど研究されていない。

非盲検の研究で、73人の肥満患者が二期の体重減少計画を受けた: 3週間のタンパク質節約、超低カロリー、ケトン誘発食(<500kcal/日、Oleoproteic® diet) および6週間の低カロリー(25-30 kcal/kg 理想体重/日)、低血糖指数(GI)、地中海類似食事。

両者の期間とも、内臓脂肪症、肝臓酵素、成長ホルモン(GH)値、血圧、およびグルコースと脂質の代謝を改善した。

しかし低カロリー、地中海類似食事は、血中脂質およびグルコース耐性指数の再上昇の原因となった。

内臓脂肪症の変化とグルコース調節関連変数は、メタボリックシンドロームの患者でさらに一致した。

しかしこれらの患者で、低カロリー、地中海類似食事はグルコース調節関連変数の一貫した再上昇をもたらさなかった。

ケトン誘発処方バランスの取れた地中海類似食事が続く食事計画は、特にメタボリックシンドロームの患者において実行可能で心臓血管系リスク低減に有効と思われる。

キーワード : ケトン誘発食、地中海食事、肥満、体重減少

---